別紙３

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（総合）研究報告書

医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

研究代表者　馬場　秀夫　熊本大学大学院生命科学研究部・消化器外科学 教授

研究要旨
医師の労働時間の短縮のため、タスク・シフティング/タスク・シェアリングが可能な業務のうち、説明と同意の取得等において、定型化可能な業務を抽出し、時間短縮のための資材を作成する

馬場　秀夫
熊本大学大学院生命科学研究部・消化器外科学　教授

Ａ．研究目的

医師の時間外労働の上限規制が適用される2024年４月に向け、「厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」がとりまとめた報告書において、医師の労働時間短縮のためには「医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化（タスク・シフティング、タスク・シェアリング）」を徹底して取り組んでいく必要があるとされた。現行制度の下で実施可能な業務のうち特に推進するものとして、患者への説明と同意の取得、各種書類の下書き・仮作成、診察前の予診・問診、患者の誘導が挙げられている。
本研究においては、これらにおける定型的な対応が可能な業務を抽出し、当該事項についてのDVD等の資材の作成やその有効性の検証等を行い、各医療機関における実装を進めることで、医師の働き方改革に関わる一連の制度の円滑な運用に資することを目的とする。

Ｂ．研究方法

１年目である令和3年度については究代表者の所属施設における患者からの得る必要のある同意書の取得件数について、各診療科および同意書の種類ごとに集計、分類した。その結果、画像診断、輸血、麻酔等の同意書に関して優先的に作成する資材とした。２年目である令和４年度においてはこれらの結果を基に資材の作成を行った。３年目の令和５年度において、作成した音声付き説明用動画を用いて実際に医師の説明時間が短縮できるか検証するためのアンケート調査を実施する。その為、研究内容を倫理委員会に提出した（倫理第2795号）

Ｃ．研究結果

資材の作成に当たっては、班会議において役割分担を行った。院内の関連診療科ならびに多職種にて検討し、また関連施設や関連学会等にも適宜情報共有を行い、目的としていた画像診断（造影CT）、輸血、麻酔に関する同意取得の内容について音声付き動画を作成した。また、研究代表者の専門分野と関連する消化管内視鏡検査ならびに手術に関する動画についても作成を行った。
また、導入に際して、導入前後で実際に医師の労働時間の短縮効果がどの程度得られるかを定量的に検証するために、医師を対象として、アンケート調査を行うこととし、班会議でその内容を議論した。内容としては説明と同意の取得に要する時間と頻度、また各医師の資材の利活用に対する意識調査を行う予定とし、研究計画書を作成して倫理委員会に諮った。（倫理第2795号）その結果、倫理委員会から研究内容の不備を指摘され、研究内容の再考を行った。

Ｄ．考察

今回作成した資材を実際に臨床の現場に導入するにあたり、医師の労働時間の短縮効果がどの程度あるかについて検証する必要がある。また、導入に当たっては資材の内容が患者側にも理解可能か、医師患者関係を阻害しないかについても配慮が必要である。実際に臨床で資材を活用することに対して、倫理委員会から不備を指摘され、研究内容を再考した。

Ｅ．結論

作成した資材について実際の運用を行い、その有用性について検証し、必要に応じて内容の修正等も検討し、医師の労働時間短縮に資する資材として今後臨床応用していく。

Ｆ．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1. 論文発表

①馬場秀夫　医師の働き方改革の推進に関する検討会 勤務医に対する情報発信に関する作業部会 議論のまとめ（案）厚生労働省勤務医に対する情報発信に関する作業部会　2022/2/25

②馬場秀夫, 森 正樹　ブラック労働環境からの脱却:ホワイトサージャリーに向けて日本臨床外科学会誌　2022 年 83 巻 2 号 p. 255-256

③馬場秀夫　【Doctor’s Opinion】医師の働き方改革に思う　ドクターズマガジン2022年7月号

④馬場秀夫　地域医療を守りながら医師の労働時間短縮を　九州医事新報社　2023/1/20

⑤馬場秀夫　医師の働き方改革に向けての課題と展望　全国自治体病院協議会　2022年11月号

⑥馬場秀夫　2024年に迫る医師の働き方改革 何が変わり何を実践すべきか第01回施行まで待ったなし「医師の働き方改革」　2022/6/29

⑦馬場秀夫 医師の働き方改革 : 課題と展望 日本病院薬剤師会雑誌 60 (4) 367-371, 2024

⑧馬場秀夫 地域医療連携における大学病院の機能と医師の働き方改革 日本医師会雑誌　第152巻・第11号1237-1240 2024

⑨馬場秀夫　男女共同参画と医師の働き方改革働き方改革に向けた取り組みの現状と課題 日本気管食道科学会会報74 巻 2 号 176-177　2023

⑩馬場秀夫　インタビュー : 特例水準の申請とこれからの課題―馬場秀夫（全国医学部長病院長会議）［特集 :「医師の働き方改革」で医療はどうなる？］日本医事新報No.5180 60 2023

2. 学会発表

①馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第31回日本臨床工学会　2021/5/23

②馬場秀夫　医師の働き方改革の現状と今後の展開　第83回日本臨床外科学会総会　2021/11/18

③馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と課題　熊本県医師会勤務医部会総会　2021/12/6

④馬場秀夫　医師の働き方改革　現状と課題　文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）」ダイバーシティ推進講演会　2022/1/13

⑤馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第47回日本外科系連合学会学術集会　2022/6/16

⑥馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第30回日本乳癌学会学術総会　2022/7/2

⑦馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と課題　第２４回日本医療マネージメント学会学術総会　2022/7/8

⑧馬場秀夫　待ったなし！医師の働き方改革　2022 年度京都外科夏季研究会　2022/8/6

⑨馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第5回北海道外科関連学会機構合同学術集会　2022/9/10

⑩馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた取り組むべき課題　産業医研修　2022/9/28

⑪馬場秀夫　働き方改革に向けた取り組みの現状と課題　第73回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会　2022/11/3

⑫馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第120回日本消化器病学会九州支部例会・第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会　2022/12/2

⑬馬場秀夫　医師の働き方改革の現状と課題　第11回JCHO熊本総合病院地域医療フォーラム　2022/12/14

⑭馬場秀夫　待ったなし！医師の働き方改革　病院経営Webセミナー　2023/1/24

⑮馬場秀夫　研究力を落とさずに推進する医師の働き方改革　一般社団法人　日本医学会連合シンポジュム　2023/1/14

⑯馬場秀夫　医師の働き方改革の現状と課題　球磨郡公立多良木病院企業団講演会　2023/2/28

⑰馬場秀夫　待ったなし！医師の働き方改革　病院経営Webセミナーin熊本　2023/3/24

⑱医師の働き方改革の現状と課題　第９回神戸大学医学部教授による医学教育ワークショップ　2023/3/29

⑲馬場秀夫　待ったなし！医師の働き方改革　医療環境　Web Seminar～医師の働き方改革を考える～　2023/4/20

⑳馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた外科医と麻酔科医の連携　麻酔業務に関する多職種連携－働き方改革を見据えて　日本麻酔科学会第70回学術集会　2023/6/3

㉑馬場秀夫　待ったなし！医師の働き方改革　埼玉川越エリア「地域医療連携 Expert Meeting」2023/7/４

㉒馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第78回日本消化器外科学会総会　2023/7/13

㉓馬場秀夫　待ったなし！医師の働き方改革　Hospital Director Seminar In Sagamihara 2023/9/21

㉔馬場秀夫　医師の働き方改革に向けた現状と展望　第76回日本胸部外科学会総会　2023/10/20

㉕馬場秀夫　働き方改革時代における外科医の研究:腸内細菌と消化器癌研究から考える　2023/10/27

㉖馬場秀夫　間近に迫った医師の働き方改革　第78回日本大腸肛門病学会学術集会　2023/11/11

㉗馬場秀夫　地域医療を崩壊させないための大学の役割　第85回日本臨床外科学会総会　2023/11/17

㉘馬場秀夫　医師の働き方改革と外科医の教育　第60回九州外科学会第・60回九州

小児外科学会・第59回九州内分泌外科学会　2024/3/8

3. その他
①兼業・副業の派遣先、「宿日直許可を取得している病院で検討」が大学病院の17.3%　馬場秀夫　日経メディカル　2023/05/01
②大学病院勤務医の研究・教育時間確保のために1059億円のコスト増が必要であり、診療報酬等による支援を―医学部長病院長会議　馬場秀夫　Gem Med　2024/4/26記者会見
③2024年度で1860時間超えの医師が7大学87人の見込み　馬場秀夫　日経メディカル　2023/12/01
④宿日直許可の取得、医師の長時間勤務改善に効果　馬場秀夫　MEDIFAX WEB　2024/2/22

H．知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
特になし
2. 実用新案登録
特になし
3.その他
特になし